



は じ め に

うるま市教育委員会

教育長 嘉手苺 弘美

この度、うるま市教育委員会では、将来が予測困難な社会を生き抜く児童生徒の育成のため、新しい視点を持ち、今後の学校教育、社会教育の活動方針とするため、「うるま市教育振興基本計画」を策定しました。

方針の実現には、教育行政だけでなく、あらゆる垣根を超えた多角的な取り組みが必要です。学校、家庭、地域、企業等との連携・協働による取り組みと学びから人と人との「つながり」や「かかわり」を大切にする中で、「自分が好き、学びが好き、地域が好き」という意識を持つ子どもや市民となり、いずれまちづくりのための貴重な「人材」として、本市の重要な「感動」の資源の一つになることを期待します。

「感動」。この言葉は、現在本市においてのキーワードです。

うるま市は、昨年度「感動産業特区うるま市」を宣言し、そのアンバサダーとして、中高生による現在版組踊「肝高の阿麻和利」が東京で上演されました。舞台は来場者に大きな感動を与え、それが渦となり、さらにその感動が演じ手の子ども自身に伝わることで、大きな自信と成長に繋がることを目の当たりにしました。「感動」は人を自ら成長させる力を持っています。うるま市教育委員会では多くの「感動」を生むべく、施策を進めております。

まず今年度、市内全小中学校で一斉更新される電子黒板は、様々な機能を持ち、一人一台端末との併用活用で、「わくわく（感動）」のある授業展開と学習の拡充が期待されます。

また、市教育委員会に新たに設置いたしました「学校生活応援課」は、特別に支援が必要な児童生徒・配慮が必要な児童生徒の学びの保障のため、組織を横断した支援を行い、子どもたちに日々の小さな「感動」を積み上げ、自立に向け取り組んでまいります。

さらに、戦後沖縄の食糧難を救ったハワイ県人会による豚輸送プロジェクトを描いた漫画本「安慶名良信物語」をうるま市教育委員会で発刊しました。本市制定の「海から豚がやってきた記念日」とも関連させ、この「感動」の史実が、故郷を愛する気持ちと、地域貢献に対する意識の醸成につながるよう取り組んでまいります。

施策を進めるための本市の教育委員会の組織と、活動概要をまとめたものが「うるま市の教育」であり、各分野の取り組み、施策が把握できるよう編成しております。教育関係者ははじめ、多くの方々に本市の教育行政についてご理解を深めていただくとともに、本市教育へのご助言と、なお一層のご協力を賜ればと思います。

令和6年8月

基本目標 2

子どもがいきいきと 育つまちづくり

2-3 幼児教育・保育の充実

乳幼児を家庭の保護者に代わって保育し、安心して就労や子育てを行うことができる環境を整えるとともに、健全な人間形成の基礎を培う幼児教育・保育を実現し、子どもたちに健康・安全で文化的な生活、豊かな遊びが保障されることで、心身の調和のとれた発達を目指します。

- 2-3-1 多様な幼児教育・保育を充実させます
- 2-3-2 保育所等・小学校を連携します

基本目標 5

郷土に誇りをもち 未来を拓く人づくり

5-1 生きる力を育む学校教育の充実

豊かな心とたくましい体、望ましい生活習慣や食習慣等を育み、予測困難な社会の変化に柔軟に対応できる幅広い知識と柔軟な思考力を身に付け、すべての人の個性を認め合い、協働して新たな価値を見出していこうとする姿勢を身に付けた国際性に富む子どもを育成します。

- 5-1-1 学力向上を図ります
- 5-1-2 きめ細やかな指導・支援・相談体制の充実を図ります
- 5-1-3 児童生徒の心と体づくりに取り組みます
- 5-1-4 教育環境を整備・充実させます
- 5-1-5 地域と共にある信頼される学校づくりを推進します
- 5-1-6 組織的・機動的な学校づくりを推進します

5-2 学校教育施設の充実

児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。

- 5-2-1 学校教育施設を整備・充実させます

5-3 青少年健全育成の推進

学校・家庭・地域社会が連携して、青少年の健全育成に地域ぐるみで関わり、子どもたちが地域の中で心豊かで健やかに成長できるまちを目指します。

- 5-3-1 青少年健全育成支援体制を整備します
- 5-3-2 青少年の健全育成・自立を支援します

5-4 生涯学習の充実

市民それぞれのライフステージやライフスタイルに応じ、生涯にわたって生きがいを持てるように、生涯学習活動機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実を目指します。

- 5-4-1 生涯学習の環境を整えます
- 5-4-2 図書館の活用を推進します
- 5-4-3 学んだ成果を地域社会に活かします

5-5 スポーツ・ライフの推進

市民がスポーツに親しみ、健康の維持・増進と競技力向上に取り組むとともに、スポーツ関係団体の運営支援や組織力強化支援に取り組み、良好なスポーツ環境を提供し、スポーツによる地域活性化を目指します。また、市民一人ひとりが自主的、主体的にスポーツ・運動に親しむことができるまちを目指します。

- 5-5-1 様々な主体と連携しスポーツが生活にとけ込むまちづくりを目指します
- 5-5-2 スポーツ環境を整備・充実させます
- 5-5-3 スポーツに気軽に参加できる機会を確保します
- 5-5-4 競技スポーツの強化・向上を推進します

5-6 文化・芸術の振興

市民が優れた文化・芸術に親しみ、触れる機会を充実させることにより、教養や感性を深め、多様な価値観が尊重されることにより心豊かな社会形成を目指します。また、長い年月をかけて今に受け継がれてきた伝統芸能の保存・継承及び地域文化の振興を図ります。

- 5-6-1 市民文化活動を推進し文化芸術に親しむ機会を提供します
- 5-6-2 文化施設・設備を有効利用します

5-7 文化財の保存・活用の推進

文化財を次世代へ継承するため、企画展示・体験学習・各種イベントなどの機会を通して市民の文化財に対する意識や関心を高め、文化財の保存・活用を推進し、郷土に愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。

- 5-7-1 文化財を保護します
- 5-7-2 文化財を活用していきます

令和 6 年度

うるま市の教育

主要施策

うるま市教育委員会

目 次

第1章 うるま市の概要

1 位置及び人口	1
2 沿革	2
3 うるま市歌	3

第2章 教育行財政

第1節 教育行政	5
第2節 教育財政	22
第3節 育英事業	24

第3章 乳幼児期の教育・保育

第1節 乳幼児期の教育・保育が目指すもの	27
第2節 乳幼児期の教育・保育の現状と課題	29
第3節 乳幼児期の教育・保育の具体的な取り組み	30

第4章 学校教育

第1節 学校教育	33
第2節 うるま市教育支援センター	75
第3節 学校給食	86

第5章 学校教育施設

第1節 学校教育施設	95
------------	----

第6章 生涯学習

第1節 生涯学習振興	101
第2節 生涯学習文化振興センター	107
第3節 図書館	120

第7章 文化・芸術

第1節 市民文化活動の推進	127
第2節 文化施設・設備の有効利用	128

第8章 文化財

第1節 文化財の保存と活用	133
第2節 保存・活用の方針	137
第3節 資料館	139
第4節 市史編さん	144

資料編1 うるま市教育委員会事務点検・評価

1 令和6年度（令和5年度実施事業分） 事務点検・評価	149
--------------------------------	-----

資料編2 各種委員等

1 うるま市立図書館協議会	151
2 うるま市自治会長連絡協議会 役員名簿	151
3 うるま市自治会長	152
4 うるま市社会教育委員	154
5 うるま市教育支援センター運営委員	154
6 うるま市文化財保護審議会	155
7 うるま市立資料館協議会	155
8 うるま市具志川市史編さん委員会 第9巻専門委員	155
9 うるま市立学校給食センター運営委員会	156
10 うるま市教育支援委員	157
11 学校医・歯科医・薬剤師一覧	158

資料編3 施設使用料

1 学校施設使用料	159
2 うるま市立公民館使用料	159
3 生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料	160
4 うるま市民芸術劇場施設使用料	161
5 うるま市石川会館施設使用料	163
6 うるま市きむたかホール施設使用料	165

資料編4 学校・教育機関

1 市教育委員会事務局・教育機関・その他公の施設	167
2 うるま市立小学校・中学校一覧	168
3 令和6年度うるま市立学校在籍一覧表(小学校・中学校)	169
4 令和6年度うるま市教育委員会・関係団体等行事予定表	170

第1章 う る ま 市 の
概要

第2章 教 育 行 財 政

第3章 乳 幼 児 期 の
教 育 ・ 保 育

第4章 学 校 教 育

第5章 学 校 教 育 施 設

第6章 生 涯 学 習

第7章 文 化 ・ 芸 術

第8章 文 化 財

資 料 編